

栄北よりだ議会

書 宍戸美翠^{みどり} (由良宿 大栄書道愛好会)

北栄町 初の 無投票

 秋山 おさむ	 奥田 のぶゆき	 さいお 智弘	 前田 えいじ	 中井 ひろえ
14	 河本 ふみや	 山下 まさみ	 長谷川	 永田 やすひこ
15	 中山 てつお	 みのばら みゆき	 井川 あつお	 油本 ともや

北栄町議会議員一般選挙ポスター掲示場
北栄町選挙管理委員会

注 意
・ポスターは指定された番号の区画にはってください。
・この掲示場は、北栄町議会議員一般選挙の候補者以外の方は使用できません。
・掲示場を壊したりポスターを破ったりすると罰せられます。

10

- 特集 今回の選挙を振り返って — 2
第6期 新体制スタート — 4
9月定例会 — 6
町政 ここを問う — 10
議員間討議 「どうする風力発電所」 - 14

北栄町議会

検索

<https://www.e-hokuei.net>

No.

76

令和7年 11月

今回の選挙を振り返って

9月30日に10月5日執行の北栄町町長選挙及び北栄町議会議員一般選挙が告示されました。締め切りの17時で、町長選立候補者1名、議会議員一般選挙立候補者13名であり、どちらも無投票当選となりました。

議員定数は今回の選挙から2名削減され13名となりました。勇退5名に対し新人3名となり、定数の13名を超えず北栄町初の無投票となりました。

前回の選挙の状況

町長選 立候補者数／定数：2／1
議員選 立候補者数／定数：16／15
投票日：令和3年10月3日
有権者数：12,292人
投票率：65.7%

今回（10月5日）の選挙の状況

町長選 立候補者数／定数：1／1
議員選 立候補者数／定数：13／13
投票日：令和7年10月5日
有権者数：11,773人（令和7年9月29日現在）

地方議会において、議員のなり手不足は全国的に大きな問題となっています。「議員の果たす役割は大きい、なり手がいない」という問題は町民の皆さんとともに考えていかなければなりません。

要因としては、仕事や家庭との両立の難しさ、報酬や活動環境への不安、議会の仕事内容が見えにくいこと、政治への関心の低下などが挙げられます。次回の選挙までに一歩でも前進できるように、議会是对話の機会を広げ、情報の「見える化」や相談の場を充実させていきたいと思います。一緒に北栄町の未来を作り上げていきましょう。

まちの声

60代男性

町の運営が安定しているから議員さん達に委ねる、任せられると思っています。真に志がある方だけが立候補して欲しいです。選挙あるなしはどちらでもかまいません。

議員さん達の給与をもっと上げて今後の町に何が必要か未来予想と対策を訴えてワクワクさせて欲しいですね。町の議員さん達は私達の身近な存在です。時々議会を視聴しています。新たな陣容の皆さんに期待しています。



30代女性

興味がないので、はじめてから行く気がなくどちらでもいい。



70代男性

時々議会を視聴しています。報酬をもっと増やし、議員定数を減らして選挙するべきだと思います。新たな陣容の皆さんに期待しています。



40代男性

無投票で良かった。半数位入れ替わる可能性があるなら選挙があった方が良いが、1人～2人位の入れ替わりなら選挙をやっても仕方ない。



50代女性

定数13人がそろってよかった。選挙がなくて町のお金を使わなくて済んでよかった。



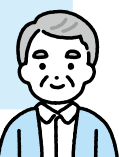
40代男性

無投票選挙で当選が決まると、選挙戦というハードルを乗り越えていないので、町のために働くなどの志が無くてでも当選できちゃう。よって議会の先細りになりかねない。



70代男性

定数13に減らしたが、無投票。なり手不足はこれからも続くと思われるが、もっと減らすべきかどうか、真剣に検討してほしい。



20代女性

無投票になったことに対して、自分の意見を反映させる機会が少なくなってしまうと感じました。有権者として自分の意思を示せない状況もあることを実感し、地域の政治に関心を持つ大切さを改めて感じました。



50代女性

町長選挙ならあった方が良いが、町議会選挙なら投票する人は決めているので、どちらでも良い。



30代女性

無投票になったので、お金（選挙費用）を使わなくて良かった。



第6期 新体制スタート

令和7年10月23日に初議会が招集されました。

正副議長、各常任委員会委員、監査委員、中部ふるさと広域連合および後期高齢者医療広域連合の各議会議員の選出を行いました。（委員会構成は裏表紙をご覧ください。）

（○内の数字は当選回数を表しています。）

副議長

井川 敦雄（無所属）②



このたび、副議長の重責を担わせていただくこととなりました。日々の暮らしの中で感じる声を大切に、町民の皆さまに寄り添う議会を目指してまいります。物価高騰などの厳しい状況もありますが、笑顔で助け合えるまちを守り育てていけるよう、議長を支えながら誠実に努めてまいります。

議長

前田 栄治（無所属）⑥



定数が2人減り13人となりました。行政の監視は当然ですが、今まで以上に情報発信や意見聴取を実施するため広報広聴機能を強化し、調査研究をして皆様にフィードバック（返信）してまいります。住民ニーズを的確にとらえ、政策提案し、全議員がワンチームとなって、暮らし良い北栄町を目指して取り組んでまいります。

山下 正美（無所属）①



北栄町が「住みやすい」「住んで良かった」と、心から思えるまちになるよう力を尽くしてまいります。そのためには現実をしっかりと見定め、未来に向けて一人ひとりが考え行動していくことが大切です。そして何より地域の皆さまとの横のつながり、世代や立場を超えた協力と連携がまちの力になります。皆様の声を大切に、共に歩む姿勢を忘れず、誠実に取り組んでまいります。共に北栄町の今を見つめ、より良い未来を築いていきましょう。

中井 宏衛（無所属）①



今、時代は今までにないスピードで変わりつつあると感じています。その変化に対し地方は独自の発想で協力し合い対応して行かなければなりません。そうした中で私たちの役割は町民の皆様から知恵をお借りし、議会に反映させることだと考えています。住みやすい町、北栄町のために。

永田 恭彦（無所属）①



町民の皆さんをはじめ、北栄町の関係者全員が、少しずつでも想いを繋げ、よりよい社会を作りあげていくことを応援いたします。また、そうして実現したすばらしいまちを、次の世代へと繋げていくために努力してまいります。まずは皆さんの気持ちをお聞かせください。語り合うことこそが、「繋がり」の構築への第一歩です。

養原 美百合（無所属）②



町民の皆様の声を原動力に、繋がりや支え合いを更に強く。誰もが安心して暮らせる北栄町を、皆さんと共に築いていきます。

河本 文哉（無所属）②



課題は常にあります。そして、いろんな考えや意見があり、立場や環境でも変化します。だからこそ、リスクを持って前向きな対話を心掛けたいと思います。

中山 功一（無所属）②



『問題があればまず聴いて、一緒に考え深掘りし、課題を解決して生活を変えていく』そんな議会にしていきたいと思います。

油本 朋也（無所属）④



4期目を迎えました。計画されてきた一連の大型事業に道筋が見えてきたこの任期中に浮上してくる大きな課題は次の点。由良地区の医療機関誘致、町内の買い物環境の改善、そして基幹産業である農業の後継者問題です。これまで培ってきた知識と経験を携え、一層の責任感と緊張感をもってこれらの難敵に立ち向かっていきます。

秋山 修（無所属）③



議員の重要な役割である、行政のチェック機能を重視した議会活動を行います。PDCAサイクルの視点で計画から改善までの事業評価を通して、成果と課題を明確にします。限られた財源を有効に活用し、健全な財政運営が行われる町政を目指します。町民の期待に応える持続可能で透明な町政を推進します。

奥田 伸行（無所属）③



何が正解か不正解か解らない昨今、情報リテラシーと思考力を最大限に発揮し、皆様と共につくるまちづくり、責任ある仕事に努めてまいります。

議会事務局

主 事務局長
事務補佐

宇山 手嶋
利美 寿征
恵久

町民の声を大切にしたい新たな風を感じています。議会事務局も信頼される議会運営が行えるよう全力で取り組みます。

長谷川 昭二（共産党）⑥



物価高騰が町民の暮らしと営業を直撃しています。私も子どもが取り組んだ町民アンケートでは、8割の方が「生活が苦しくなった」と回答しておられます。これからも、寄せられた声を議会へ届け、「暮らし第一のまちづくり」をすすめてまいります。また、大軍拡・暮らし破壊の政治が町民の暮らしに大きく影響しています。平和と暮らしを守るために、国の悪政にもキチンとモノを言い、活動をすすめてまいります。

斉尾 智弘（公明党）④



この度の選挙期間中、様々な声を頂きました。多かったものに由良宿への医療機関の誘致、空き家対策、北条、栄地区の買い物拠点整備、災害時避難所となる学校体育館への空調設備の整備です。これは保護者の方から1年でも早く整備し、涼しい環境で運動をさせてほしいとご意見を頂きました。これらの実現に努力していきます。今後も多くのご意見を頂きますようお願いいたします。

令和6年度

決算認定

総括質疑

問 井川 敦雄

安定的な財政運営のためには自主財源の確保が必要だが、自主財源比率が前年対比3・5ポイント下回っている。この結果をどのように分析しているのか。

答 手嶋町長

ふるさと納税額が減っている。今後しっかりと検証し7年度以降についても自主財源の割合が増えるように取り組んでいきたい。

問 井川 敦雄

自主財源確保に向けた取り組みは。

答 手嶋町長

小さなことの積み上げだと思っている。9年度以降になると思うが、北条道路がつながるので、積極的に企業誘致を行っていきたい。



完成が待たれるジャンクション

一般会計

コンビニ収納手数料

問 中山 功一

手数料を払っているが町民はどの程度利用をしているのか。手数料に対して、効果は高いとみているのか。

答 前田町民課長

町民税は4・5%、固定資産税は10・6%利用されている。以前は納税組合があったが、今は口座振替を推進するなかで、更なる利便性のためコンビニ収納を導入。効果は高いとみている。



コンビニが便利

民間診療所 新規開設継承支援事業

問 斉尾 智弘

診療所の誘致は予算計上が少ないのではないか。

答 手嶋町長

増額も考えて、対応して進める。

高齢者補聴器購入費補助事業

問 長谷川 昭二

認知症予防の観点から助成額を上げる検討は。

答 手嶋町長

検討させていただく。



最大3万円補助

農地利用状況調査

問 斉尾 智弘

利用可能な遊休農地が増え、成果が出ていないことについて、今後は。

答 中原農業委員会事務局長

農業委員会、産業振興課と協議している。取り組みを行っているからこの数で抑えられている。

答 清水産業振興課長

担い手の確保、新規就農者、地域計画など有効な取り組みを行っていく。

災害対策費

問 斉尾 智弘

感震ブレーカー設置補助の内容及び成果は。

答 小澤総務課長

補助率3分の2で、コンセントタイプは上限1万4千円、ブレー

分電盤タイプ (内蔵型)	分電盤タイプ (後付型)	コンセント タイプ	感震 タイプ
価格:5万~8万円	価格:約2万円	価格:5千~2万円	価格:2千~4千円
電盤に内蔵されたセンサーが振れを検知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。	分電盤に設置されたセンサーが振れを検知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。	コンセントに内蔵されたセンサーが振れを検知し、コンセントから電気を遮断する。	ばねの作動や重りの落下などにより、ブレーカーを切って電気を遮断する。
電気工事が必要 工事費:約2~3万円	電気工事が必要 工事費:約1万円	電気工事が不要 ※埋込型は必要 工事費:約8千円	電気工事が不要 工事費:不要

観光協会補助金

問 養原 美百合

不用額914万円の理由は。

答 永田観光交流課長

観光協会からの実績報告で町からの補助金がなくとも黒字になることが判明したため未交付とした。

大栄歴史文化学習館 特別会計

問 中山 功一

アンケートではふるさと館にやや不満の人がある。この人達の満足度を上げていくことが大事だ。どのような手法を考えているか。

答 永田観光交流課長

不満な人達の分析はできていない。今まで目前でしていた調査を、民間に委託して質を深めたい。

風力発電事業会計

問 油本 朋也

ブレードの修繕費が年々減少しているが、風車の耐用年数を過ぎても大きなダメージなく順調に稼働しているということを、裏付ける数字とっていいか。

答 岩本環境エネルギー課長

そのように判断している。



青山剛昌ふるさと館

賛否 分かれた！ 結果 どうなった

【議案等】

			中 山	河 本	井 川	養 原	尾 嶋	奥 田	秋 山	油 本	齊 尾	町 田	前 田	津 川	長 谷 川	阪 本	野 田	賛 成	議決結果
件 名			議案に対する賛否																
令和6年度 決算	令和6年度 北栄町一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入123億5971万円 歳出119億4312万円	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	12	原案可決
	令和6年度 北栄町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入17億5385万円 歳出16億4833万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	13	原案可決
	令和6年度 北栄町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入18億1146万円 歳出17億 700万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	13	原案可決
	令和6年度 北栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入1347万円 歳出1013万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	13	原案可決
	令和6年度 北栄町米財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入69万円 歳出23万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	令和6年度 北栄町大栄歴史文化学習館特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入1億9946万円 歳出1億8024万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	令和6年度 北栄町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入2億6300万円 歳出2億6235万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	13	原案可決
	令和6年度 北栄町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	収益的収入2億6991万円 収益的支出2億1314万円 資本的収入4197万円 資本的支出9998万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決及び認定
	令和6年度 北栄町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	収益的収入10億3603万円 収益的支出 8億3467万円 資本的収入3億4565万円 資本的支出8億 66万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	13	原案可決及び認定
補正予算	令和6年度 北栄町風力発電事業会計利益の処分及び決算の認定について	収益的収入4億9350万円 収益的支出3億 616万円 資本的収入 0円 資本的支出 1億円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決及び認定
	令和7年度 北栄町一般会計補正予算（第5号）	5億3760万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	令和7年度 北栄町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	1億734万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	令和7年度 北栄町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	1億 447万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	令和7年度 北栄町米財産区特別会計補正予算（第1号）	37万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	令和7年度 北栄町大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第1号）	3209万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	令和7年度 北栄町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	358万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
条例関係	令和7年度 北栄町下水道事業会計補正予算（第1号）	特例的収入△2万円 特例的支出△2万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	北栄町竹歳敏夫奨学英基金条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	北栄町林野等の火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	北栄町中央公民館条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	北栄町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	北栄町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
その他	町道の路線の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	北栄町監査委員の選任につき同意を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決
	北栄町教育委員会教育委員の任命につき同意を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議	14	原案可決

【請願・陳情の結果】

件 名	陳情に対する賛否																	賛 成	議決結果
少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	14 採択
「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	14 採択

※ ○：賛成者、議：議長（議長は採決には加わりません。）

激論！！令和6年度 北栄町決算 賛否あり

一般会計の認定

《反対》 長谷川 昭二

観光振興が進む一方で、交通弱者支援や教育・住宅施策が不十分である。町民の暮らしへの配慮が課題となっている。

《反対》 養原 美百合

5億8600万円の不用額は計画性の欠如を示し、町民に寄り添った行政運営とは言えず、重大な問題である。

《賛成》 井川 敦雄

収支を適切に管理し、社会保障費や建設事業費が増加する中でも、財政健全化指標は基準を大きく下回り、安定した財政運営が見込まれる。

《賛成》 斉尾 智弘

財政は健全に運営され、福祉・教育・医療・環境など多方面で住民サービスが展開されている。

国民健康保険事業特別会計の認定

《反対》 長谷川 昭二

自己負担が高く生活を圧迫しており、町独自の医療費軽減策が不十分で安心して受診できる環境が整っていない。

《賛成》 井川 敦雄

実質収支は1億553万円の黒字で、保険税徴収率も高く、一般会計からの1億2285万円の繰り入れにより安定した運営が行われている。

介護保険特別会計の認定

《反対》 長谷川 昭二

制度改悪により利用者負担が増加している。保険料・利用料の軽減による必要な介護が受けられる仕組みが必要。

《賛成》 井川 敦雄

介護保険料は99.9%の高い徴収率と安定財源を活かし、在宅医療・介護連携により地域共生社会の実現が進められている。

後期高齢者医療事業特別会計の認定

《反対》 長谷川 昭二

窓口負担や保険料軽減措置の縮小により高齢者への負担が増し、医療差別が懸念されており、国による制度改革が求められている。

《賛成》 井川 敦雄

超高齢化に伴う医療費増加に備え、早期発見・治療を重視し、医療機関と連携し円滑な事務運営が行われている。

町政 ここを問う

9月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項	その他の質問
10	町田 貴子	男女共同参画の推進	
11	荻原美百合	移動手段の確保	子育て支援の充実
	井川 敦雄	紫外線対策	地域おこし協力隊の定住
12	斉尾 智弘	学校体育館の空調設備	有害鳥獣対策、防災行政無線、こども誰でも通園制度
	中山 功一	民生委員と重層的支援体制	全国学調、医療的ケア児の支援体制
13	河本 文哉	青山剛昌ふるさと館の収支計画	
	長谷川昭二	下水道事業の集約化	

【お知らせ】傍聴さ〜ん いらっしゃい！（令和7年12月定例会の日程 ▶ 12/2〜12/18）
*日程は変更になる場合があります。最新の情報はホームページなどでご確認ください。

町政ここを問う

町長 財政バランスを考えながら対応



みのほら 荻原 美百合

外出しやすい環境を

移動手段の確保

荻原

移動に不安や困難を抱える住民がいる。

移動手段の確保は日常生活の維持や社会生活を支える重要なものである。

①タクシー利用料助成が年間100枚では不足。拡充を。

②国の「地域公共交通の再構築」の考え方を踏まえ、「新たに必要な交通手段を関係者でつくる場」が必要では。

町長

①全体的な財政バランス、福祉サービスの充実も考えながら検討する。

②色々な場で情報収集し、ニーズが盛り上がってくれば、何か会議が必要だと思つ。



*出典：国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/redesign/>
地域公共交通のリ・デザイン



まちだ たかこ 町田 貴子

町長 生活に根付かせる

今後の取り組みは

男女共同参画の推進

町田

第4次北栄町共同参画基本計画について、今後の取り組みを伺う。

町長

今後も各種団体、県などと連携しながら、家庭、地域、職場等あらゆる場面で男女平等の大切さを伝え、生活の中に根付かせる取り組みを進めていく。

女性団体連絡協議会や男女共同参画推進会議、県と一緒に住民への啓発活動を推進していく。



誰もが認められ、活躍できる社会を

教育長 問題ない



いがわ あつお 井川 敦雄

UVカットサングラスの着用を

紫外線対策

井川

紫外線が眼に悪影響を与えることは知られている。おしゃれとかファッションではなく、児童・生徒の目の保護するための対策としてUVカットサングラスの着用について伺う。

教育長

UVカット仕様で色付きでないサングラスであれば、普通のメガネと変わらないので、問題ないと思える。



求められる対策

災害対策



町長 検討していきたい

体育館の
空調整備を

町長 7月にカムチャツカ半島沖で地震が発生し太平洋側の広い範囲で津波警報が発表された。新聞報道によると酷暑のなかでの避難が課題だと伝えている。災害時に避難所となる学校体育館の空調整備について3月議会でも取り上げたが、具体的にどのように考えているか。

町長 重要な課題であると認識している。国においては避難所となる学校体育館の環境改善を図るため、交付金制度を新設し空調設備の導入を加速化している。この制度を活用し令和15年度までには優先度や費用対効果を精査しながら整備を検討していきたい。



避難場所となる大栄小学校体育館

民生委員と重層的支援体制

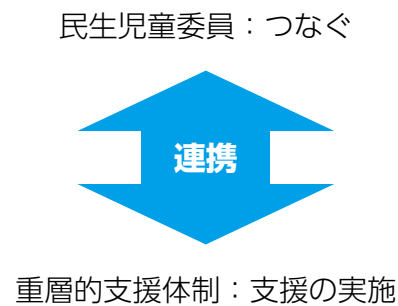


町長 つなぐ役割を担ってほしい

民生委員の
負担を軽く

中山 北栄町ではいち早く重層的支援体制をとっている。また、地域には民生児童委員がいる。それぞれの役割について何う。

2 民生児童委員のなり手不足解消に向けた具体的対策は。



町長 ① 民生児童委員の活動の実態が、行政を始め専門機関に「つなぐ」ことであるのに対し、重層事業は実態に応じた支援や、他の専門機関を巻き込んだ解決策の提供など、「実施」することに重点がある。「重なる部分」で連携を図り、町民の福祉増進や課題解決を図っている。

2 民生児童委員の負担軽減に向けて、毎月の定例会における意見交換や、行政に「つなぐ」ことの徹底、委員から引き継いだケースの結果のフィードバックを通じて、ケースを一人で背負わないような対応・仕組みづくりをしている。

青山剛昌ふるさと館再整備



町長 別料金の企画展示を開催

新たな
収益機会は

河本 青山剛昌ふるさと館再整備後の収支計画について、以下何う。

- ① 将来的な入場料改定のプランは。
- ② 物販イベントなど新たな収益機会は。
- ③ 修繕費、建て替え費の積み立て計画は。

町長 ① 物価や人件費の上昇を想定して、収支計画は絶えず見直してリスクに備える。

② 物販はテナント事業者からの施設使用料を収入にする。また、多目的スペースを活用して、入場料とは別料金の企画展示を開催していく。

③ 修繕費については計画的な積み立てを検討しているが、建て替え費用については検討していない。

令和7年		令和8年												令和9年											
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
建築工事																									
造成・外構・舗装工事																									
展示設計・内装・展示制作																									
														オープン準備 (休館)											
														令和9年オープン予定 (日は未定)											

青山剛昌ふるさと館新築移転スケジュール

下水道事業の集約化



町長 なるなら、しない

住民負担の
増大では

長谷川 下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

① ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは。

② 集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。

③ 民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。

④ 処理場の一本化で災害時のリスクは。

⑤ 維持管理にもっと国の負担を求めるべきでは。

- ③ 事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
- ④ 耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
- ⑤ 国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。

町長 ① 経営の効率化のために必要。

② 県が整備して、構成市町が費用を按分負担すればメリットがある。



下水道マンホール

提案者 津川俊仁

令和6年度決算の数字は、今後の風力発電所譲渡の判断材料となる重要な情報であり、議員は貸借対照表や損益計算書を理解し、数字をしっかりと押さえたうえで結論を出せるよう臨む必要がある。

秋山修

無償譲渡は公的財産の扱いとして疑問があり、設備価値や基金残高、事故リスク、瑕疵担保責任なども整理すべき。契約素案の早期提示が望まれる。

中山功一

譲渡後も撤去は必要だが、譲渡先が解体費用を負担するため町の基金は他用途に活用可能で、町にとってのデメリットはないとされる。地域貢献の意向もあり、無償譲渡は問題ないと考えられている。広報広聴委員会の活用による住民の声の反映にも賛成。

斉尾智弘

住民の安全と環境への配慮を重視し、地球規模の視点で環境問題に取り組むことで、より良い解決策が見出せると考えられる。

井川敦雄

譲渡には賛成だが山陰道の近さが懸念され、町の責任も残る。基金は将来の災害対応や次世代の選択肢のために残すべきと考えている。

尾嶋準一

風車譲渡に賛成。地元説明では住民や町のための配慮が感じられ、自治会でも反対意見がなく、その方向で進めてほしいと考えている。

奥田伸行

風車は耐用年数を過ぎ、設置基準や野鳥被害の面でも撤去が妥当。譲渡する場合も無償でよいが再検討が必要。

町田貴子

譲渡にはリスクがあり、現時点で資産処分は困難。今は保留し、基金を積み立てながら将来の活用を検討すべきではないか。

蓑原美百合

譲渡先や住民の反応などの情報が不十分なまま討議が進むのは問題であり、基金の使い方も含め住民の意見を反映すべき。

河本文哉

譲渡方針がある中で、リスク重視の立場から解体を支持。山陰道に近く不特定多数が利用するため、慎重な判断が必要とされている。

野田秀樹

この討議で賛成反対で決を採るということではなく、これから町のためにこういった方向でいくのか、ある程度の方向性が見出せばいいのではないかと考える。

阪本和俊

譲渡に不安があり、地元と町の説明に乖離を感じる。事故リスクも踏まえ、議論には十分な情報と議員の確認が必要とされている。

長谷川昭二

風車は撤去が決まっており、住民の安全が最優先。山陰道に近く危険性があるため、譲渡より撤去を優先し、基金はそのため確保すべき。

油本朋也

譲渡には住民の声を聴くことが不可欠。改選後の広報広聴委員会の機能を活用することが望ましい。山陰道との距離や災害リスク、無償譲渡の妥当性にも疑問があり、撤去費用を考慮しても基金に余裕があるため、現時点では慎重な姿勢が求められている。

※前田副委員長が進行したため
討論はありませんでした。

令和8年3月に最終決定がなされる予定です。議員の間でもさらなる議論を重ねていきます。あなたはどうか考えますか？ぜひ、ご意見をお聞かせください。



決断のとき 迫る

4年間 よろしくお願ひします



— 委員会構成 —

議会運営委員会

委員長 長谷川昭二
副委員長 河本文哉
委員 中山 功一
委員 井川 敦雄
委員 油本 朋也
委員 斉尾 智弘

広報広聴常任委員会

委員長 河本文哉
副委員長 中山 功一
(議長を除く、議員全員が委員)

予算決算常任委員会

委員長 油本 朋也
副委員長 長谷川昭二
(議員全員が委員)

総務教育常任委員会

委員長 斉尾 智弘
副委員長 永田 恭彦
委員 中井 宏衛
委員 河本 文哉
委員 秋山 修
委員 長谷川昭二
委員 前田 栄治

議会選出監査委員

奥田 伸行

鳥取中部ふるさと

広域連合議会議員

前田 栄治
井川 敦雄

民生経済常任委員会

委員長 中山 功一
副委員長 山下 正美
委員 井川 敦雄
委員 蓑原美百合
委員 奥田 伸行
委員 油本 朋也

鳥取県後期高齢者医療

広域連合議会議員

前田 栄治

編集後記

今号から新しいメンバーでの編集体制に引き継がれました。今期の広報広聴常任委員会は、議長を除く議員全員の12名で構成されています。広報として「議会だより」を通じて町民の声を集め、広聴の機能を強化して皆さんとの対話を深めていきます。

特集でもふれましたが、今回の選挙は北栄町で初めての無投票となりました。議員のなり手不足という課題に向き合い、町民の皆さんが関心を持ち、意見を寄せやすい仕組みづくりを進めていきたいと思います。

(河本)

発行責任者

議長 前田 栄治

編集委員

河本 文哉
中山 功一
永田 恭彦
中井 宏衛
井川 敦雄
油本 朋也
長谷川昭二